施策評価シート（令和５年度　実績）

【行政評価】
施策４

重点的方針	誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくり
概要	町民全員が一人ひとりの多様性を尊重し、誰一人取り残さない社会、自分らしくいきいきと暮らし続けられるインクルージョンの精神を持った社会の実現を目指します。 誰もが健やかに地域で自立した生活が送れるよう、町民による健康づくりや未病に対する取り組みを支援するとともに、地域の人々との関わりの中で、支え合いながら生活できる環境づくりを進めます。 また、地域コミュニティの活性化と魅力向上のため、高齢化を見据えた地域活動のあり方を地域と検討するとともに、特に防災や消防、防犯といった安全安心に関わる活動に対して、従来からの自助・共助・公助の取り組みだけでなく、新たな関係性の構築を含め、様々な主体との連携を強化していきます。

No.	関連する主な予算等事業	トータルコスト（千円）				庁内評価（２次評価）			
		R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	人権・ジェンダー平等社会推進事業	2,664				適当・維持			
2	福祉相談支援システムによる連携	2,617				良好・維持			
3	地域包括支援センター運営事業	19,698				適当・要改善			
4	介護予防普及啓発事業	10,753				適当・維持			
5	健康づくり事業	8,101				適当・維持			
6	防災訓練・自主防災組織育成事業	2,174				適当・要改善			
－	その他	715,287							
合計		761,294	0	0	0				

※達成状況：A　達成（100%以上）、B　概ね達成（70%以上）、C　充分とは言えない（50%以上）、D　未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）							
指標名		基準値	R5	R6	R7	R8	達成状況
人権講演会への職員出席数（人）	計画	25	25	27	29	31	A
	実績		28				
ことわらない相談の受付状況（件）	計画	540	570	600	630	660	A
	実績		611				
新規相談件数（件/年）※地域包括支援センター	計画	969	1,050	1,100	1,150	1,200	B
	実績		1,043				
未病センター利用者数（一日平均）（人）	計画	3.7	5.6	5.7	5.8	5.9	A
	実績		5.6				
地域活動に参加している人の割合【戦略】（%）	計画	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	B
	実績		25.9				
自主防災訓練を実施している地区数【戦略】（地区）	計画	15	16	17	18	19	B
	実績		15				

前年度	成果	－
	課題等	－
今年度	成果	・福祉相談支援システムの導入により、複雑化、複合化する相談情報を共有し、関係部署の連携を強化した。 ・イベント等でも出張未病センターを開催し、利用者数がコロナ前に回復した。 ・コロナ禍を経て、各地域活動が戻りつつある中、防災についても地区ごとの訓練が多数実施された。地区によっては年に複数回自主防災訓練が実施されるなど、防災意識も向上しており、地域防災力が強化された。
	課題等	・高齢化の進展に伴い介護認定者や相談が今後も増加することが見込まれる。 ・未病センターを拠点に自身の健康に関心を持っていただくよう、健診の受診とともに働きかけが必要である。 ・各地区の自主防災訓練参加者は、熱心に実働訓練や講義受講に取り組んでいるが、若い世代の参加が少ないなど、いかに幅広い世代へ意識啓発したり、訓練参加を促したりできるかが課題となっている。

※評価 「Ａ：十分な成果があった」「Ｂ：一定の成果があった」「Ｃ：あまり成果がなかった」「Ｄ：成果が得られなかった」

内部評価（評価・理由等）	
Ｂ：一定の成果があった	・増加する高齢者等の相談に対し、ことわらない相談窓口や地域包括支援センターにおいて適切に対応した。 ・イベント等で健康ブースを設けるなどして、健康無関心層に健康づくりに興味を持ってもらえるように周知を行っていく。 ・町民が安全安心に生活が出来るよう、地域コミュニティにおいて自助・共助の必要性を啓発したり、取り組みを強化したりすることはさらに重要となっている。そのような中、地区役員や防災指導員を中心に、地域が主体となって自主防災訓練を実施し、発災時に重要となる「顔の見える」共助の関係性の強化が進められている。
外部評価（評価・主な意見等）	
Ｂ：一定の成果があった	・人権講演会への職員出席数は、町が指示して職員を参加させれば達成できる指標であることから、講演会に町民がどれだけ参加しているかをKPIとして設定した方がよい。その結果から、人権問題に意識を持った方が増えていると判断する要素になるのではないか。 ・ことわらない相談窓口や地域包括支援センターの相談受付数とは別に、相談に対する解決数を示すなど、適切に対応したと判断する具体的な根拠を示し、町民の安心につなげることができるようにする必要がある。

※ 町の最終方針 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	**〈誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくり〉** **高齢者や障がい者への支援** 高齢者支援や障がい者の社会参加、自立支援など、誰もが住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らしていくため、これまでの一律給付型の制度から、必要な人に必要な支援を届ける施策への転換など、社会の変化に対応した持続可能な施策に向け、研究、検討を進める。 ・ことわらない相談窓口に関するKPIについては、相談件数に対する終結数を示すこと等を検討する。 **個別避難計画の作成** 災害時に自力で避難が難しい高齢者などを対象に、支援が必要な人の個別避難計画を進め、安全・安心な避難体制を構築する。